

大学等名	滋賀医科大学	申請レベル	応用基礎レベル（大学等単位）
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI時代の医療人育成教育プログラム（応用基礎）	申請年度	令和7年度

■プログラムの目的

数理・データサイエンス・AIの基盤的な内容に加えて、医療現場への応用と限界に関する事例の教育も積極的に取り入れ、医学・医療を学ぶ医学生・看護学生に特化した教育プログラムを提供し、**数理・データサイエンス・AIに関する技術を活用した医療分野における課題解決が実践できる人材**の育成

■身に付けられる能力

- ✓ 適切なデータ分析・可視化手法を選択し、収集したデータを十分に観察するとともに、それらの分析結果をもとに事象の背景や意味合いを理解する能力
- ✓ ビッグデータの集積・蓄積のための技術やITセキュリティを理解したうえで、データベースから必要なデータを抽出し、データ分析のためのデータセットを作成する能力
- ✓ 機械学習、深層学習の基本的な概念を理解したうえで、自らの専門分野にAIを応用する際に求められるモラルや倫理について理解するとともに、AI技術を活用した課題解決の可能性を思慮する能力

■実施体制、修了要件、開講されている科目の構成

教学全体のPDCAサイクル実施体制

教育推進本部

医学・看護学教育センター

学部教育部門会議

数理・データサイエンス・AI教育のPDCAサイクル実施体制

数理・データサイエンス・AI教育検討専門委員会

教学活動評価委員会

「自己点検・評価」実施組織

【修了要件】プログラムを構成する科目にすべて合格のうえ、在籍する学科の卒業要件を満たすこと

授業科目	学年	1-6	1-7	2-2	2-7	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
臨床実習	5					○			○	○		○	
医療情報学	4			○		○		○	○	○		○	○
公衆衛生学	4					○	○	○					
診断学序論	3					○							
データサイエンス・AI入門	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数理科学Ⅲ(確率・統計)	2	○											
数理科学Ⅱ(線形代数)	1	○											
数理科学Ⅰ(解析)	1	○											
情報科学	1			○	○	○	○	○	○				

授業科目	学年	1-6	1-7	2-2	2-7	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
公衆衛生看護学実習Ⅰ(保健師課程)	4						○						
公衆衛生看護学実践論(保健師課程)	3						○						
統合看護学実習	4					○		○	○			○	
看護管理論	3									○			
保健統計学	2	○											
疫学	2								○				
データサイエンス・AI入門	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数理科学入門	1	○											
情報科学	1			○	○	○	○	○	○				